



拓け！自らの可能性

～社会参加に向けて～

進路だより 第4号

令和5年3月1日発行

だて支援学校キャリア支援部

校長あいさつ



日頃より、本校のキャリア教育への御理解と御協力をいただき感謝を申し上げます。

本校では開校初年度から「キャリア教育の充実」を重点目標に掲げ、児童生徒には「キャリア・パスポート」、保護者の皆様には「キャリアガイドブック」そして教職員には「キャリア全体計画」を策定し「キャリア教育3本の矢」として取り組んでまいりました。ここであらためてキャリア教育の定義を確認しますと「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」（中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」

（平成23年1月31日））、そして、その中でも大切なワードとして「キャリア発達」とは「社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程」（同）とあります。

どうしてもキャリア＝仕事と捉えがちですが、目指すところは「自分らしい生き方を実現する過程」であります。つまり「キャリア発達」は本校に在籍するすべての児童生徒はもとより我々教職員、大人にも必要であることがわかります。高等部前期校内実習において高等部生徒がグリーンカフェを運営しました。客として小学部の児童が参加し、高等部の生徒の接遇に触れ、その素敵な姿を真似したいと自分から深々と礼をすることを身に着けました。このことは高等部生徒から小学部児童が「学んだこと」であり、キャリア発達の好事例であると考えます。今後も自ら学び、自ら考え行動する力を身につけて、次のステージで活躍を祈るばかりです。

身だしなみ講座



令和5年2月16日に本校にて高等部3学年生徒を対象に「身だしなみ講座」を開催しました。

卒業を前に、身だしなみのポイントや大切さについて、より理解を深めるために、外部講師として、保原町出身のヘアメイクアップアーティストの佐藤美香様、保原町のビューティーサロン美香のオーナー佐藤幸様とスタッフの平山由美様、菅野裕美様にいただきました。

講師の方に自分の希望の髪型を伝えたり、メイクの方法を教えていただいたりしながら、やりとりを楽しむ様子が見られました。最後には、発表会として保護者様に披露し、大きな拍手をもらいました。生徒からは「かわくなった。これからは自分で髪の毛をとくしたり、肌のお手入れをしたりして、素敵な大人になりたい。」などの感想が聞かれました。

講師の皆様、今回は貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

◇ だて支援学校初の卒業生は、小学部5名、中学部3名、高等部7名の児童生徒です。

高等部卒業生7名は進路先が決まり、それぞれ自分で選んだ道を歩き始めます。地域の中で、自分の役割を果たしながら、健康で充実した毎日を過ごしてほしいと願っています。

令和4年度の各学部卒業生の進路先状況は、以下の通りです。

進路指導主事 江田 綾

○小学部卒業生 5名

進学（5）	本校中学部進学予定（5名）
-------	---------------

○中学部卒業生 3名

進学（3）	本校高等部進学希望（3名）
-------	---------------

○高等部卒業生 7名

分類	進路先区分	人数	進路予定先
就職		0名	
障害者総合支援法に基づく福祉サービス事業所	就労移行支援事業所	0名	
	就労継続支援A型事業所	0名	
	就労継続支援B型事業所	3名	・NPO法人ボネール障がい者就労支援「福祉ハウスボネール」 ・合同会社アールプラス 就労継続支援B型事業所アールプラスワークむすびや ・社会福祉法人あぶくま福祉会 就労継続支援B型事業所ほどはら授産所
	生活介護事業所	4名	・医療法人掛田中央内科 指定生活介護事業所 らる樹 ・社会福祉法人あぶくま福祉会 生活介護事業所 だての郷 ・社会福祉法人ひろせ福祉会 生活介護事業所 さくら ・特定非営利活動法人ぬく森 生活介護 杜の笑
	共同生活援助事業所	0名	

第2回保護者進路研修会



令和5年2月8日、本校保護者を対象に、第2回目となる保護者進路研修会を開催しました。

今回は、伊達市梁川町の社会福祉法人ひろせ福祉会の三浦正一理事長様を講師としてお招きし、「障がい福祉サービス事業所での取り組み」や「卒業後の生活を見据えた保護者の役割」などについて御講話いただきました。

参加した皆様から以下のような感想をいただきましたので、一部を御紹介します。

○卒業後の進路を見据えて、私たち保護者の役割を考えていく良い機会となった。

○基本的な生活習慣を整えることは今すぐできることなので、自分（親）も含めて取り組みたい。

○親の会のありがたみ、人の支えがあって今があることを教えていただきありがたかった。

次年度も、保護者の皆様からの要望を聞きながら研修会を企画していきます。



高等部卒業生から

3年1組 T・N

だて支援学校で頑張ったことは、産業現場等における実習です。私は「だての郷」で2回実習をしました。そこでは、ネジ取りを頑張りました。固くて取れないときに最初はいらいらしてしまうことが多かったですが、後期の実習で、担当の方に「取れないのでお願いします。」とお願いすることができました。

集団での生活やあいさつがまだまだ苦手ですが、先生方とも約束をしたので、これから少しずつ慣れていきたいと思います。卒業後は、「だての郷」で働きます。

私の目標は、『落ち着いて作業する』と『休まないで通勤する』です。これを目標に元気に頑張りたいと思います。

3年2組 S・A

ぼくは4月から大笹生支援学校からだて支援学校にきました。だて支援学校は校舎がとてもきれいで、人が少ないことにおどろきました。ぼくがだて支援学校でがんばったことは2つあります。

1つ目は作業学習です。大笹生支援の作業学習は、ぼくは基礎作業班でせっけん作りをしました。だて支援の作業学習は、アクティブサービス班で花植えや保原総合公園のそうじをしました。花植えは暑くて大変でした。2つ目は現場実習です。現場実習は生活介護事業所らる樹に行きました。らる樹さんではパソコンで給食のメニュー作りやねぎの袋づくりをしました。特にねぎの袋づくりをがんばりました。たくさんできてたのしかったです。実習をがんばって、食べたパンも美味しかったです。

4月からは生活介護事業所らる樹さんにいきます。時間のメリハリをつけて、じゃがいもの袋入れをがんばりたいです。

新規福祉サービス事業所情報

施設事業所名	住所・電話番号	支援サービス・仕事内容
特定非営利活動法人テゾーロ 指定生活介護事業所 星来(せら)	福島市大笹生西荒7-1 024-529-5880	活動内容：制作、体操、月の行事、お菓子作り等
特定非営利活動法人かおり福祉会 工房もものたね	伊達市伏黒字西本場1-1 2階 024-572-6822	【就労継続支援A型、就労継続支援B型】 作業内容：焼き菓子・ジャム製造、ハンドメイド品製作 ※女性向け事業所

今年度の進路指導を振り返って

小学部教諭 菅野 喜徳

年度当初から「相手に挨拶される前に自分から挨拶しよう。」と、みんなで取り組んできました。また時刻に応じた挨拶を心掛けるようにしてきました。社会生活を送る上で一番大切にしたいことが人間関係だと思います。関係作りで最初に行うことが挨拶です。明るく元気な声で挨拶されるのは、誰しものが気持ちよく思うのではないのでしょうか。今では、積極的に自分から挨拶をしている児童の姿があります。

また、「言葉遣いに気を付けよう。」と取り組んできました。友達と話すときは、「～だね。」「～だよ。」と優しい口調で話すこと。年上の人と話すときには、「～です。」「～します。」と丁寧な言葉で話すことなど、相手に嫌な気持ちを持たれないようにするように、その都度話してきました。まだ十分ではありませんが、言葉遣いを意識できるようになってきました。今後も継続した指導が必要と思っています。

中学部に進学しても、これらのことを意識して生活していけば、将来、素敵な社会人になってくれると期待しています。

中学部教諭 麻山 春香

12月に中学部保護者を対象にした対面式の作業製品販売会を初めて実施しました。長引くコロナ禍のため、今まで直接お客様と触れ合う機会がなかった生徒も多く、緊張していた生徒もありましたが、実際にお客様と接し販売して、かかわる楽しさや自ら作った製品が売れる喜びを感じることができたようです。

中学部の作業学習では、「挨拶・返事・報告」など働くために必要とされる基本的な力を育てながら、製品を作る楽しさや売れる喜び、そして時には大変さも感じられるようにしながら丁寧に取り組んできました。このような学習を通して、生徒が「働く」とはどういうことなのか？」と少しずつ具体的なイメージを描くことができてきています。

これからそのイメージを具体的なものにしていくために、中学部での経験や学んだことを生かしながら、卒業後も夢や希望をもって、充実した日々を送ってほしいと願っています。

高等部教諭 鈴木 初巳

高等部3年生の皆さんは、これまで、進路学習会や産業現場等における実習、生活単元学習の中で、「働くこと」について学んできました。

その中で、どの場面でも出てきたワードは、「報告、連絡、相談」です。いかに仕事ができても、自分から言葉を発することができなければよい働き手にはなれません。これまでの実習や、学習を通して学んできたことが、これからの新生活で必ず役立つはずです。自分に自信をもって、何事にもチャレンジしてください。3年生スタート時に学年で決めた合言葉「チェンジ、変わらなきゃ」も健在です。元気な皆さんのこれからに期待しています。

保護者の皆様におかれましては、これまで多くのご支援・ご協力ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

